

KAMIRAKUGO

KAMI RAKUGO BIMONTHLY MAGAZINE 2-3 NO.74 February & March

TAKE
FREE

かみ落語
え桂文枝

池田・落語みゆーじあむ
(池田市立上方落語資料展示館)

笑顔咲く
華ひらく



総集編

第15回 社会人落語日本一決定戦

(TOPICS) 桂文枝 大会総括 / 第15回ファイブリストインタビュー

第17回アマチュア落語家発表会寄席

第十五回

社会人落語 日本一決定戦



第15回目となった今大会。
事前審査には、全国そして海外から
324通もの応募をいただきました。
「プロではない、社会人らしい落語」
という大きなテーマのもと、厳しい
事前審査が行われ、出場者が決定。

10日の予選会当日は、
145名の出場者が
池田に集結しました。

予選会

令和五年十二月九日(土)



決勝戦

十二月十日(日)

お客様の熱気と笑いに溢れ、
どの会場も大盛り上がり！

6会場で行われた予選を勝ち抜いた
10名による決勝戦は翌日の10日、
アゼリアホールにて行われました。
出演順が当日くじ引きで決まるという
大会初の試みに客席も沸き立ち、
ファイナリスト全員に熱い拍手が
送られていました。

千葉県

二松亭 風林火山

会社員
大友 英裕(59歳)

鮫講派

奇跡だと思っています

一年に渡りこの演目をあちこちの高座にかけて改良を加えましたので、「ここまでやったんだからなんとかなる」と意識して予選会の高座にあがりました。決勝進出で呼ばれたら隣に立つ仲間に抱きつく準備をしていて、呼ばれたので、ガツツリ抱き合いました。期待値は10%くらいだったので、奇跡的な感動に震えて嬉しかったです！

決勝ではガチガチに緊張しましたが、不思議と過去に高座にかけた時の楽しきうまくいった記憶が蘇り、気楽な気分で座布団に座れたことが奇跡だと思っています。これからは落語を通して、地域の人たちや関係者に恩返しできるような活動に繋げていきたいです。

二位で呼ばれてギヤー！



「皿屋敷のお菊さんは氣の毒すぎる」と思って

いたので、「実はこうだったんじゃない?」と

いう皿屋敷を考えたものが今回の噺のベースになりました。自分と先輩を

モデルにしてお菊さんとお岩さんの掛け合いを考

えるのが楽しかったです。

決勝の後、外に出たらモデルに

した先輩が「わたしを舞台に上げ

てくれてありがとう」と号泣して

いたのが印象的でしたね。

この大会に出たのが四回目、決勝に

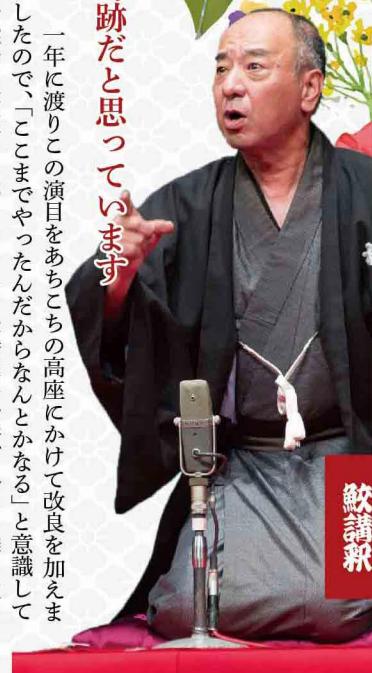
上がらせていただいたのは二回目となり

ました。アゼリアの舞台に上がらせていただくのは光榮であり、落語をさせてもらえるのは大変楽しいです。そして、同じ決勝に選んでいただいた

同志たちを袖から送り出せるのも嬉しいです。

できることならまたあの舞台に上がりたいです。

またあの舞台に上がりたい！



大阪府

団子家みたらし

ライター
イラストレーター
岡本 麻友子(47歳)

裏皿屋敷

大阪府
千里家圓九
せんりやまるく
地方公務員
西本 文洋(55歳)

ふぐ鍋

肩に力が入つてしましました

予選会では、いつも力を入れすぎてしまうので、なるべく肩の力を抜いてやることにしました。肩の力を抜いてやることはできましたが、開演後早めの出番だったので、お客様に喜んでいただけたのかどうかは分かりません。決勝に選ばれるとは思っていなかつたので自分が一番驚いております。

決勝では肩に力が入つてしましましたね。もつと落ち着いてやれば良かったと思います。ただ、樂屋は和気あいあいとした雰囲気で、本番前に皆で円陣組んで「やるぞ!」「おー!」って言つたのが記憶に残っています。

今回二位なん

てとつちやつたので、



自然と涙がこぼれました

実は、社会人落語家としての活動はこれまで殆どありません。そもそも落語をはじめて二年弱、高座に上がった経験は一桁だけ。なので、決勝進出で名前が呼ばれた時は、異次元にワープした感覺に陥りました。動搖してしまい、事の重大さに気づくのにかなりの時間を要しました。

決勝戦も高座での記憶が殆どありません。お客様が笑っていたのかどうかすら覚えていないのです。ただ、達成感と充実感に満ち、感無量で高座を後にしたことは覚えております。市長賞に選んでいただき、言葉に出来ない感情でした。自然と涙がこぼれできました。大会が終わり、社内で同僚とすれば違うと「師匠おめでとうございます！」と

決勝進出者
インダビュ



この先「えへ、期待はずれ」と言われないように精進していきたいと思います。

第二位

北海道
無茶志亭 肉丸
むちやしていにくまる

痴氣の虫

団体職員
長崎 瞳子(57歳)

わざわざ足を運んでくださったお客様をがっかりさせない事。その気持ちを決して忘れない事が、必ず結果に結びついていくという事を心がけて予選会に挑みました。よく笑っていただけたとは思いますが、決勝進出で名前が呼ばれた時は非常に驚きましたね。予選会場の代表という事を考えると責任重大で、無様な高座にだけはしないようと思ふと、嬉しいという感情は一瞬で消え去りました。



記憶が無いのが残念です

決勝戦の立派なホールでやらせていただくのは、素人としては本当に光栄でした。ただ、終わつた瞬間、頭の中が白くなり、舞台袖に戻るまでの間、あまりしつかりした記憶が無いのが残念です。まだまだ未熟な点を埋めていき、本大会での入賞が何よりの目標です。

兵庫県

龍宮亭 無眠

会社員
井上 信行(59歳)

時うどん

第三位

愛知県
ハツ家 千艘
りくつやせんそう

三年目

堤 晋一郎(49歳)

娘からのリクエストで…

地元の広島で小中高生に落語を教える活動をしています

自分の娘も参加していて「女の幽霊の出て来る噺をやりたい」というリクエストを受け、「三年目」にたどり着きました。「自分でやつてみたいなあ」と思つて高座に掛けたところ、評判も良かつたので、大会に向けて仕上げてみました。

決勝戦の当日抽選で一番手を引いて、会場が好意的な雰囲気になつてくれたように感じましたね。皆さんの落語を見ていて、もし入賞出来るとしても一位、二位は無理だな、可能性があるとしても三位だなと思っていたので、三位の発表で「ここで呼んでくれー」と祈っていました。とは言え本当に呼ばれるとは思わなかつたので驚きました。

古典落語で決勝に残れたので、次は自作の落語で決勝の舞台に挑戦してみたいです。

今回が大会初参加。終始大きな緊張で押し潰されそうで、目の前の高座に全力で向き合うのみでした。決勝進出で名前が呼ばれた時は、しばらく何も聴こえなくなりました。果然と言うやつですかね。島根から一緒に参加した人に「おいつ、呼ばれてるぞ！」と言われて実感が湧きました。

大会の趣旨と合っているのかわかりませんが、笑い声や演技中の拍手が聴こえたのでお客様にはウケていたのかなと思っています。大会が終わってから、全国のベストテンに入ったと言う事で色々なところで称賛されます。

緊張で押し潰されそう

笑いの少ない人情話で人を楽しませられるようになりたいです。

島根県
夏風亭 あつ晴
かふうていあつぱれ

調律師
隅田 勝一郎(24歳)

ちうどーちゃん

大阪府

猪名川亭 風鈴

パート
俵 弓加(61歳)

いながわいでふうりん

痴舉の幽靈

最高の景色でした！

決勝戦では好きないつもの出囃子で高座に上がりて、ハメモノを入れてもらえて大変られしかつたです。自分のやりたいことは全部やれたので満足。決勝の舞台から見る景色はやっぱり最高でした！これからは若い人には真似できない円熟した落語を目指したいです。



東京都

ほんほん亭遊月

ほんぽんてい ゆうづき

ピアノ調律師
棗田 真澄(61歳)

社会人ピアノ日本一決定戦

三年目で叶った宿題提出

この大会には第一回から参加していく、今年が十三回目の出場。文枝師匠の言われる「社会人らしい落語」ってなんだろうと第一回が終わつた時から悩んできました。自分の仕事はメジャーではないので仕事の噺を作るのは無理だなど諦めていたのですが、調律の噺じやなくとも、大会のパロディみた「社会人ピアノの大会を作つてピアノを弾く人を増やそう！」って噺なら出来るかも、と3年前に思い、あらすじが降りてきました。



決勝戦はとにかく楽しかつたです。笑つてほしいところで全部笑つてもらえて、乗せられていく気持ちよさがありました。優勝で名前が

呼ばれた時は、頭の中で別の人との名前想像していいたので信じられない気持ちと、参加し続けたことが報われたと感無量でした。

落語仲間はもちろん、新聞やネットニュースを見てくれた知人からお祝いの連絡をたくさんいただき、実家の母もあちこちから連絡をもらつたと喜んで電話をくれます。お陰様でちょっと親孝行ができました。直近の落語会で行かなかつたら大会に出るのは最後にしようと思っていました。見ながら、大会ぎりぎりまで手直しすることができました。

この噺を大会にかけるのが三回目だったので、これで決勝に行けなかつたら大会に出るのは最後にしようと思っていました。予選では客席に知つてゐる顔がたくさんあって力をもらいまし

たし、笑いも起きていたので、「これで決勝行けなくても悔いな

し！」と。文枝師匠への宿題提出と思つて作った噺だったので、決勝進出が決まつた時は「これでやつと聞いていただけ安堵の気持ちでした。

今年は、大会のレベルが上がつた感じがしましたね。皆さん元気よく大きな声でしたし、非常にテンポも良かつたです。古典の方も、創作の方もお上手で、それぞれよかったです。中でも、一位、二位、三位は抜けていた感じでした。

僕がつけた一位、二位、三位も、他の審査員の皆さんのがつけた一位、二位、三位も同じでしたので、順位がすんなりと決まりまして、皆さんを感じた通りの結果になつたんじやないかなと思います。

優勝されたピアノ調律師の方は、自分の職業をいかして落語を作られて、大変素晴らしかつたと思います。ピアノを弾く時に、前を向いて弾くんじゃなくて、横を向いて弾くという変化をうまくつけておられましたね。聞きましたら、今までこのネタをこの大会で三回かけたらし

いんです。今までは決勝まで上がりつて来て、やつと三回目でこうして出てきました。プロの噺家は一年でいろんな噺をしないといけないですけど、一本に絞つてお稽古されたんじやないかなと。これこそ社会人落語の真髄というか、一番の僕の目標していたところへ到達していただいたんだなと思います。

今回のこの結果を見て、皆さん「こうすれば決勝に残れるな」「こうすれば優勝できるな」というのを感じたと思いますので、もつとレベルアップして、これからさらさらに社会人落語らしい落語会になつていくと思います。大会が盛り上がりつたのも皆さんのおかげです。改めて池田市長さん、池田市民の皆さんに深くお礼申しあげます。本当にありがとうございました！

総括 桂文枝



一年頑張った成果を、晴れ舞台で披露します！

第17回

アマチュア落語家発表会寄席

木戸銭無料!
出入り自由!

2月 24日(土)
10時～17時45分

猪名川亭立雀
立川賀
五月家晴太郎
松井孝之
猪名川亭藤桜
藤田とも子
薰風亭笑舎
前山博正
鶴亀亭好翁
安河内勝美
池田家かしこ
浦川澄惠
文々亭純太
原口純二
池田家ふる里
山内さと子
鶴亀亭梅の丞
梅本邦雄
池田家登ざん
西田努
鶴亀亭団吉
福永浩二
猪名川亭福美
福永知美
天神亭おり鶴
竹中史子
五月家走平
足立節男
猪名川亭あれ喜
阿部敏男
五月家王礼
中西英二
薰風亭三葉
角倉幸子
文々亭金三
渡部恭三
五月家文櫻
瀬口文子
池田家角行
佐古浩行
鶴亀亭宏次郎
上村宏也

壺算
平林
御神酒徳利
親子酒
大工調べ
松山鏡
池田の牛ほめ
となりの桜
廻火事
池田の猪買い
またち華々しき華燭の典
寝床
千両の富くじ
住吉駕籠
よかちよろ
代書
蜆売り
出雲の国譲り(創作落語)
米揚げ笊
金明竹
木津の勘助

奨励賞授与・修了式 講師 桂 三幸

2月 25日(日)
10時～18時40分

薰風亭栄光
久田佳栄
猪名川亭都々喜
衣笠良子
令令和華都
津賀美季
五月家美桜
富岡仁胡
五月家枝舞
澤崎美枝子
八軒家一升
北田勝章
五月家鶯
片岡桃代
池田家団巣
菅原庸介
文々亭仁生
佐藤仁
薰風亭ぽんぽこ
伊藤和枝
五月家安庵
安藤睦夫
五月家稻佐久
中西博美
池田家先手
菊田盛仁
猪名川亭あん光
中野浩子
池田家ぼん彩
渡瀬泰周
猪名川亭紫紺
河野弘和
池田家真砂
池田美砂子
猪名川亭ゑふで
中谷規美子
猪名川亭尚花
塙見尚子
天満家六甲
向井琢雄
猪名川亭寿美
前田すみ子
五月家ぼたん
川面真知子
猪名川亭永楽
西田惠永子
五月家建三
富田健治

奨励賞授与・修了式 講師 桂 枝三郎

3月 2日(土)
10時～18時30分

池田の猪買い
わら人形
金明竹
池田の牛ほめ
崇徳院
一文笛
仔猫
手水廻し
初恋
孝行糖
笑わない男
いもりの黒焼
天災
星野屋
親子酒
住吉詣り
恥氣の独楽
鹿政談
Stadyしまっせ
大阪弁(桂三枝作)
池田の猪買い
真田小僧
廻火事
目黒のさんま
試し酒

奨励賞授与・修了式 講師 林家 染左

つる
日本一のコシヒカリ
池田の牛ほめ
京の茶漬
稻荷車
道具屋
動物園
刻うどん
饅頭怖い
七度狐
雨乞い源兵衛
(小佐田定雄作)
池田の牛ほめ
明鳥
宿替え
親子酒
次の御用日
遊山船
居候講釈
金明竹
子ほめ
ハナコ(立川志の輔作)
京の茶漬け
次の御用日
鬼の面

10:00 開演

12時頃

14時頃

落語みゅーじあむ
令和6年度

アマチュア落語家入門講座

受講生
募集!

1年間のコースです。落語の世界を知るとともに、会話のネタを増やし落語を学び、
アマ落語家として落語みゅーじあむの舞台でデビューしませんか
「池田の猪買い」「池田の牛ほめ」「好きな演目」を学べます。

特典

「落語みゅーじあむ」での発表会／「落語みゅーじあむ寄席」に1回ご招待
コース終了後、桂文枝名誉館長から高座名をつけて頂けます。

《日程予定》原則として月2回・土曜日 午前9時～正午 《主任講師》桂 三幸 《人数》10名限定(先着順)

《参加費》32,000円 《持参品》扇子・手ぬぐい・ゆかた・帯・足袋・履物など

《日時》令和6年4月13日(土)～令和7年2月22日(土)・2月23日(日)・3月1日(土)のいずれかまで、計16回

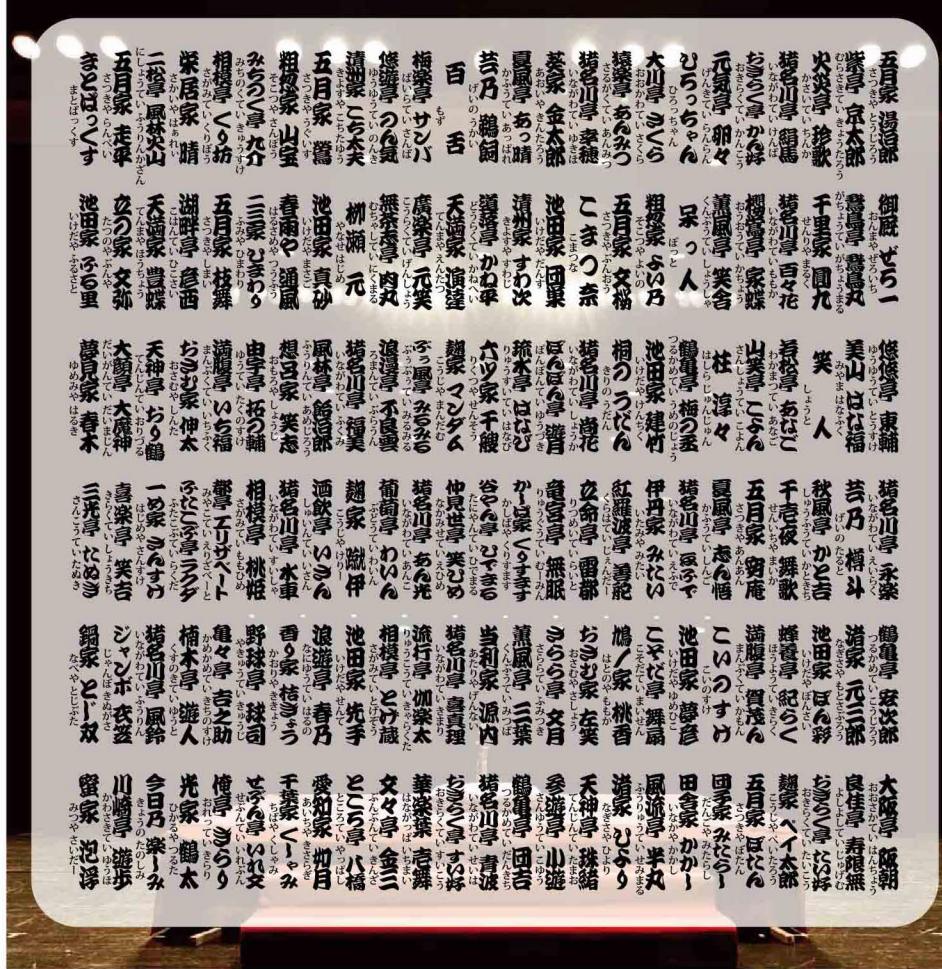
申込方法

2月3日(土)～2月17日(土)までに申込用紙にご記入の上、落語みゅーじあむにFAXか、郵送で送付下さい。
なお、参加費は、2月24日までに、納金ください。納金のち、キャンセルがありましても、返金いたしませんので、
ご了承ください。多数の場合は、抽選します。

【申込み＆問い合わせ先】落語みゅーじあむ TEL:072-753-4440 FAX:072-753-4447

また池田でお会いしましょう！

予選通過者一覧



【決勝審査員】

桂文枝（大会統括）

桂小文枝（落語家）

成瀬國晴（イラストレーター）

日高美恵（よせびっ編集者）

【ゲスト落語】薰風亭文鳥

【予選審査員】 【市民審査員】

笑福亭呂鶴 水越英樹

桂米平 西山真

桂坊枝 衛門昭彦

桂春雨 塩川英樹

桂三風 小林弘典

林家うさぎ 斎藤芳朗

あの熱い感動を
もう一度落語みゅーじあむで！

【主催】 池田市 / 社会人落語日本一決定戦実行委員会

協賛

NISSIN 日清食品

協力

尼崎信用金庫



〒563-0058 大阪府池田市栄本町 7-3
電話: 072-753-4440 FAX: 072-753-4447
開館時間: 11時~19時

休館日: 火曜日、年末年始※火曜祝日の場合、翌日休館
入館料: 無料（落語会などは木戸銭が必要です）
※専用駐車場はございません。

最寄駅: 阪急電車宝塚線「池田駅」下車
(阪急梅田駅から急行で約20分)
改札を出て栄町方面へ徒歩約7分

協力 公益社団法人 上方落語協会

落語みゅーじあむ

イベントスケジュール

如月 2月

【休館日】6日(火) / 13日(火) / 20日(火) / 27日(火)

2月3日(土) 9時~正午
アマチュア落語講座（中級・上級）

2月10日(土) 9時~正午
アマチュア落語講座（中級・上級）

2月10日(土) 14時~
第195回 落語みゅーじあむ寄席

桂 雪鹿 「開口一番」

桂 三河 「河豚鍋」

月亭 遊方 「お楽しみ」

【木戸銭】前売1000円 当日1500円
※前売券発売中（電話予約可 072-753-4440）

2月17日(土) 9時~正午
アマチュア落語講座（初級・中級・上級）

2月24日(土) 10時~
第17回アマチュア落語家発表会寄席

2月25日(日) 10時~
第17回アマチュア落語家発表会寄席

弥生 3月

【休館日】5日(火) / 12日(火) / 19日(火) / 26日(火)

3月2日(土) 10時~
第17回アマチュア落語家発表会寄席

3月9日(土) 14時~
第196回 落語みゅーじあむ寄席

3月24日(日) 13時~15時
第15回 落語みゅーじあむ
社会人落語日本一寄席

ぽんぽん亭 遊月
「社会人ピアノ日本一決定戦」「長短」

無茶志亭 肉丸
「痴氣の虫」「さくらんば」

六ツ家 千艘
「三年目」「時給面談」

当利家 源内
「外為裁き」「猫の皿」

【木戸銭】前売500円 当日800円
※前売券発売中（電話予約可 072-753-4440）

